

事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無	無	電話	042(753)6930
担当部課名	生涯学習部	スポーツ	課	管理 係
事務事業名	県立相模原球場管理運営費		事業コード	15220

1 総合計画における位置づけ

政策名	第5章	いきいきとした生涯学習社会をつくります	事業開始年度
基本施策名	第2節	生涯スポーツ・レクリエーションの振興	~63 年度
施策名	第2施策	スポーツ・レクリエーション施設の整備	

2 実施根拠及び関連法令等

スポーツ振興法、神奈川県立相模原球場条例及び同施行規則、相模原球場の管理運営に関する覚書、県立相模原球場管理委託契約書

3 事業概要

(1) 事業の目的		(2) 対象(誰、何)	
スポーツを通じた市民の健康増進と生涯スポーツの振興を図るため、良好な施設環境を維持することを目的として、施設管理業務を行う。		県立相模原球場	
		対象数	1施設
(3) 平成13年度事業の内容		(4) 総合計画・実施計画における概要	
維持管理業務を(財)相模原市都市整備公社に委託する。 球場利用者数 23,944人 収入 6,492,197円 体育室利用者数 13,169人 収入 808,880円 (収入は、県収入)		なし	
		(5) 個別計画の概要	
		計画名	
		計画年次	年度~ 年度

4 評価指標

指標名	球場利用率	体育室利用者数
指標式	$(\text{申込みコマ数} - \text{雨天中止コマ数}) \div (\text{申込み可能コマ数} - \text{雨天中止コマ数}) \times 100$	当該年度体育室利用者数 ÷ 前年度体育室利用者数 × 100
指標設定の意図	利用人員の比較では実態がつかめないため、実利用コマ数で比較する。	利用者数の増減で比較する。

5 目標と実績

[金額単位：千円]

	平成11年度	平成12年度	平成13年度(評価対象年度)		平成14年度	
	実績	実績	実績	目標	目標	
指標	54	50	a 51	b 50	50	
指標	105	100	c 85	d 100	100	
指標			e	f		
事業費	決算(予算)額	38,366	40,329	45,032	45,549	45,938
	人員・時間数	0.5人・年	0.5人・年	0.5人・年	0.5人・年	0.5人・年
	人件費	4,210	4,210	4,210	4,210	4,210
	その他経費	0	0	0	0	0
	合計	42,576	44,539	49,242	49,759	50,148
特定財源	0	0	0	0	0	

6 個別評価

(1)達成度…目標をどれだけ達成したか			
評価 B ▼	A : 達成している (100%)	= 、 、 の平均値 = 93.2%	
	B : 一部達成していない(100%> 80%)		
	C : 達成していない (80%>)		
$\frac{a}{b}$	$\frac{50.7}{50.0} \times 100 = 101.4\%$	$\frac{c}{d}$	$\frac{84.9}{100.0} \times 100 = 84.9\%$
		$\frac{e}{f}$	$\times 100 =$
理由 :	平成13年度の体育室利用者は、ロボフェスタの開催に伴って一般利用が制限された時期があったため、減少した。		

(2)必要性…時代変化に適応した事業内容か			
評価 B ▼	A : 適応している	理由 :	県の条例により休場日数が定まっているため、通年開館ができない。
	B : 一部適応していない		
	C : 適応していない		

(3)経済性・効率性…費用対効果は妥当か			
評価 A ▼	A : 妥当である	理由 :	使用料の減免率が低いため、利用率と収入は比例している。
	B : 一部妥当でない		
	C : 妥当でない		

(4)事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か			
評価 A ▼	A : 代替の可能性ない	理由 :	県との契約で市が管理業務を受託している。
	B : 代替の可能性低い		
	C : 代替の可能性高い		

(5)市民満足度…対象市民の満足は得られているか			
評価 A ▼	A : 満足できる	理由 :	自らプレーするだけでなく、見る野球も楽しむことができる。
	B : 一部満足できない		
	C : 満足できない		

(6)有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か			
評価 A ▼	A : 有効である	理由 :	プロ野球、大学野球、高校野球等硬式野球で使用できる市内唯一の公立球場としての存在価値は大きい
	B : 一部有効である		
	C : 有効でない		

<p>評価バランスチャート</p>	<p>成果向上の余地</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ある</p> <p><input type="checkbox"/> ない</p> <p>説明 : 県条例の改正により通年開館すれば、高校、大学の利用は増加する可能性あり。</p>
	<p>コスト改善余地</p> <p><input type="checkbox"/> ある</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> ない</p> <p>説明 : 最低限の費用で最大限の維持管理に努めている。</p>

7 総合評価

評価	AA ▼	他自治体の類似事業との比較	
今後の進め方		説明	施設の老朽化への対応と通年開館による利用機会の増大が図れるよう、施設設置者である神奈川県への働きかけを行っていく。
<input checked="" type="checkbox"/>	継続		
<input type="checkbox"/>	見直し		
<input type="checkbox"/>	廃止		
<input type="checkbox"/>	完了		

8 二次評価における変更点

--